OPEN-E および オプティマ・パッケージ社

データ拡張の可能性を高めるための ストレージ移行の成功案件

はじめに

- Optima Packaging Group GmbH（以下オプティマ社）は、充填および包装機械を製造する企業です。本社はドイツにありますが、販売、マーケティングはグローバルに展開しています。
- 彼らは、グローバルに展開する自社インフラに対して、集中管理と保護ができるデータストレージ・システムを必要としていました。
- 長年にわたるOpen-E DSS V7の良好な実績から、彼らは新しいシステム運用の基盤として、同じOpen-E社のJovianDSSを選択しました。
- 最終的にオプティマ社のデータストレージは、データ管理と保護を強化した新しく、利便性の高い機能を備えることになりました。

open-e JovianDSS　exomium　OPTIMA

Open-E, Inc. | sales.japan@open-e.com | www.open-e.com

ストレージの課題と目標

オプティマ社は、ドイツのシュヴェービッシュ・ハルに本社を構えるグローバル企業で、食品、化粧品、ヘルスケア、紙製衛生用品などの分野向けに充填および包装機械を製造しています。同社は、品質と革新性の両面で業界の最前線に位置づけられています。

オプティマ社のシステム管理者であるマニュエル・クス氏は、2012年にOpen-E社のITシステムインテグレーターであるExomiumに相談し、複数の拠点にまたがる仮想化されたデータストレージシステムを中央管理し、保護するためのソリューションを相談しました。

クス氏が解決したかった主な課題は以下の通りです。

- グローバル規模での運用を支えるためのデータストレージの管理と保護
- システムインフラ全体の継続的な監視
- データストレージ管理の集中化
- 災害や脅威への対応
- データストレージの仮想化
- 常時稼働する生産業務

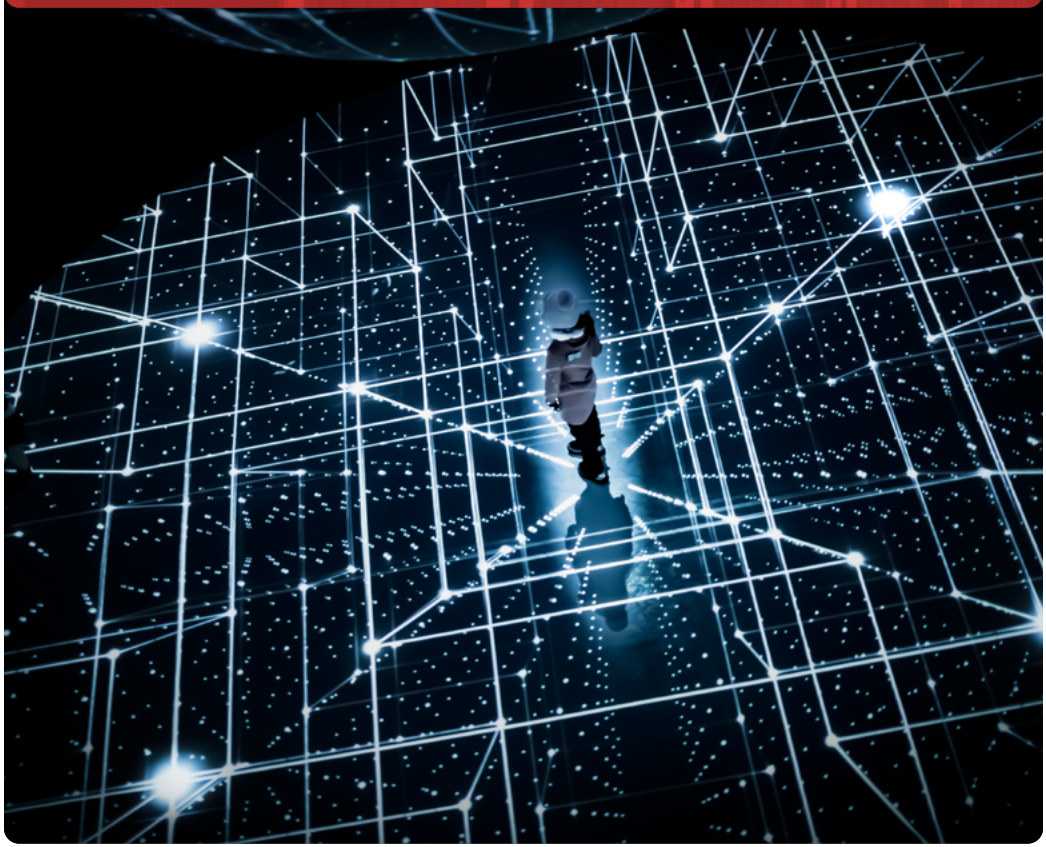
彼らは、構築したソリューションのソフトウェア基盤としてOpen-Eを選択しました。当初のシステムはOpen-E DSS V7に基づいていました。 当時、これはデータストレージと保護のためのOpen-Eの主要なソリューションの一つでした。この実績は、オプティマ社のすべてのデータストレージ要件に合致し、その後数年間にわたり同社のデータストレージ機能を向上させてきました。

しかし、年月が経つにつれて、Open-E DSS V7に基づくデータストレージシステムは容量の限界に達しつつありました。もともとの要件は変わらなかったものの、改善の余地はまだ残っていました。そんななか、Open-Eには利用可能なスペースを拡張するだけでなく、システムの信頼性と耐障害性を向上させるための追加機能を備えた、さらに高度なソフトウェアがありました。

ユーザー様の声

私たちの経験に基づけば、Open-Eは当然の選択でした。その後、Open-E JovianDSSソリューションを詳細に検討したところ、その豊富な機能に魅了されました。新ソフトウエアは、スナップショット技術を備えたZFSデータシステムのなじみのある機能と、独自のオンサイトおよびオフサイトデータ保護を提供しています。これらは私たちにとって非常に魅力的な素晴らしいソリューションでした。

オプティマ社、シニアシステム管理者、マニュエル・クス



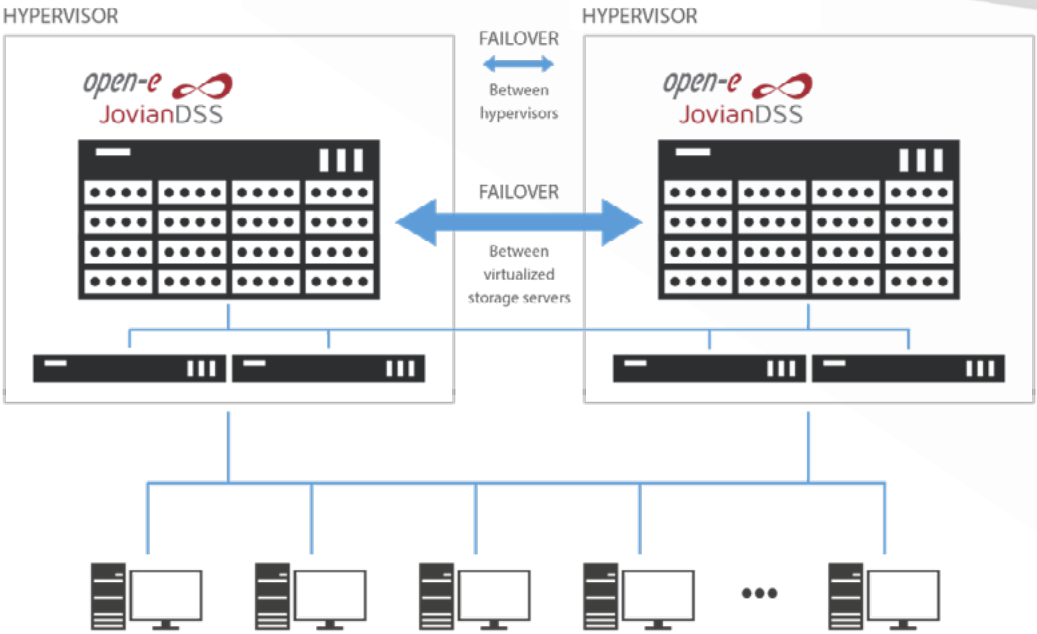
ソリューション

システムの容量と信頼性を向上させるために、クス氏はOpen-E DSS V7からOpen-E JovianDSSへの全システムの移行を決定し、ソフトウェアをVMware上で仮想マシンとして実行するハイパーコンバージド・インフラを構成しました。新しいシステムには新しいハードウェアが使用され、旧システムはOpen-E JovianDSSのオンサイトおよびオフサイトデータ保護機能のためのバックアップ先システムとして再利用されました。

新しいソリューションでは、生産システムは各ノードに1つのプールを持つ非共有アクティブ-パッシブの高可用性クラスタとして設定されました。一方のノードは主要アプライアンスとして機能し、もう一方はスタンバイ・ノードとして使用されます。仮想化にはVMwareがハイパーバイザーとして採用されました。さらに、このシステムは、以前のOpen-E DSS V7ベースのシステムから取得したハードウェアコンポーネントを再利用して作成されたバックアップソリューション（3番目のノード）を備えています。これは、既存のハードウェアに新たな命を吹き込む素晴らしい方法です。このアプローチは、環境にも予算にも優しい点も注目に値します。

オプティマ社はこのシステムで、データストレージを常にスムーズで安全に運用するためのいくつかの手段を確保しました。さらに、クス氏は実装プロセスにおいて特に重要だったいくつかの観点と機能について言及しています。

- **柔軟性:** システム構成の面だけでなく、仮想化に関しても、導入前のプロセスで成長する仮想マシンの数に対応できるよう、システムが事前に準備されていました。
- **簡単なセットアップ:** 実装プロセス全体が明確でスムーズに進行し、Open-E DSS V7からOpen-E JovianDSSへのシームレスな移行が実現しました。
- **スナップショット機能:** データストレージシステムの安定性を確保し、ランサムウェア攻撃やその他の望ましくない攻撃から保護するための最良のソリューションの一つです。
- **Open-Eオンサイトおよびオフサイトデータ保護:** 最強のデータ保護ソリューションで、オプティマ社がデータを最高レベルで保護できるようにし、ローカルだけでなく別の場所にもバックアップを作成することで、自然災害などによるデータの損失を防ぎます。



結果

新しいシステムの実装とOpen-E DSS V7からその新システムOpen-E JovianDSSへの移行は非常に直感的で簡単でした。これにより、クス氏は、オプティマ社のすべての拠点でさらに複雑で強力な環境を得ることにより、継続的な運用を実現する高度なデータ保護機能を構築しました。さらに、特定のハードウエアに依存しないOpen-E JovianDSSの特性のおかげで、クス氏はOpen-E DSS V7ベースのシステムを再利用し、Open-E JovianDSSのオンサイトおよびオフサイトデータ保護機能を使用して構成されたバックアップソリューションを作成することができました。加えて、システムはオプティマ社の仮想化ニーズに完璧に対応できるように準備されており、中央管理されたシステムを運用することで、システムの状態をより把握しやすく、監視も容易になりました。

Open-E DSS V7での非常に良好な実績の後、クス氏は、Open-Eのソフトウェアが会社のデータの寿命を延ばすための最良のソリューションであると確信したそうです。今回、彼は再びOpen-E JovianDSSに基づくOpen-Eの最先端のデータストレージソリューションを採用し、満足する結果を手に入れました。

ハードウェアの詳細

シャーシ	2x Super Micro 436+
マザーボード	2x Super Micro
CPU	2x Xeon Gold 6226R
RAM	2x 256 GB
NIC	2x Intel I210 Gigabit, x2 Intel X550 10G
HBA	2x Broadcom LSI 9400-8i
ディスク	32x Seagate Exos X10 ST16000NM004J (16TB)
Cache	2 x Seagate Nytro 3732 XS800ME70084 (800GB)

データストレージ構成

高可用性	アクティブ/パッシブ非共有クラスタ
冗長性	4ウェイミラー
Zpool	2つ、各ノードごとに

データストレージOSライセンス

ライセンス	Open-E JovianDSS製品ライセンス 0TB × 2 Open-E JovianDSS アドバンスドメトロHAクラスタ機能パック × 1 256TB Open-E JovianDSSストレージ拡張 × 2
サポートライセンス	3年間のOpen-E JovianDSSスタンダードサポート × 2

Open-E DSS V7
まだそれを使っていますか？

Open-E JovianDSSへの移行についてもっと知りましょう!

私たちのパンフレットをダウンロードしてください。

Open-E, Inc. | sales.japan@open-e.com | www.open-e.com

オプティマ社について

オプティマ社は、1922年にドイツで設立されたグローバル企業です。液体から固体まで様々な製品の充填および包装する装置の技術リーダーです。同社には約3,000人の従業員がおり、革新的なソリューション、システム、技術、サービスを創造、製造、提供しています。顧客は主に製薬およびバイオテクノロジー産業、衛生製品、消費財、その他の要求の厳しい分野であり、高度なサービスを提供しています。オプティマ社は、デジタル技術を戦略的かつ有益に活用することにもコミットしており、顧客に競争優位をもたらしています。これは、同社の分野におけるリーダーシップと革新性を示しています。
詳細情報は: https://www.optima-packaging.com/en

Exomiumについて

Exomiumは、卓越した顧客価値を提供する企業です。1999年から、ExomiumはコンピュータネットワーキングとNAS/SANストレージソリューションに注力してきました。Open-Eを搭載したストレージサーバーシリーズは、同社の主力製品の一つです。Exomiumは、顧客のニーズに応えるために、技術チームと営業チームを定期的に訓練しています。彼らはストレージサーバーをカスタムメイドすることができます。
最先端の技術を競争力のある価格で提供しており、顧客満足と技術革新において際立っています。
詳細情報は: https://www.exomium.com/

Open-Eについて

Open-Eは、1998年に設立されたIPベースのストレージ管理ソフトウェアの確立された開発者です。同社の主力製品であるOpen-E JovianDSSは、業界標準との優れた互換性を提供する堅牢で受賞歴のあるストレージアプリケーションです。使用と管理が非常に簡単で、また市場で最も安定したソリューションの一つであり、価格性能のリーダーでもあります。その評判、経験、ビジネスの信頼性により、Open-Eは業界のリーディングIT企業の選択される技術パートナーとなっています。Open-Eは、全世界で38,000件以上の導入実績があります。また、Open-E DSS V7製品は、多くの業界賞や評価を受けています。Open-Eやその製品、パートナーに関する詳細情報は、www.open-e.comをご覧ください。

詳細情報:

OPTIMA packaging group GmbH
+49 791 506-0 | info@optima-packaging.com

Exomium GmbH
+49 3677 469940 | kontakt@exomium.com

Open-E, Inc
+81 805 189 7790 | salesjapan@open-e.com